



うだるような暑さから解放され、ようやく秋を感じられるようになりました。

この時期は行楽のベストシーズンですよ(\*\_\*)♪

秋は祝日も多いので、出かけるなら自然を感じたり、体を動かしたりしたいものです。

さむ~い冬が到来する前に、あちこち行きたい!でも財布のひもは固く...

というのが本音ではないでしょうか。

というわけで、私は先日、家族で久しぶりに**岐阜県百年公園**に行ってきました。



小中学生さんは  
学校単位で  
見学にこが  
あるかも...

子供を乗せられる  
ママ知りあり  
子供用の自転車も  
あります。

(ただし補助輪付きはNG)  
レンタル料:2時間程度で  
160円/台。  
持込みは50円/台。



※サイクリングコースは往復、約2.6Kmです。  
南→北の方が下り坂がタツいで、  
あとで楽をしたいのであれば、北で借りたほうが  
いいですよ♪

県博物館は一般 320 円、小中高生は無料のわりには見るところがたくさんありました。

かなり広いです。しかも、駐車券を見せたら 100 円引いてもらえましたよ。これはオトク♪

以上、お金をかけずに近場で1日楽しめる行楽地の一例をご紹介しました。



## Q. 親知らずは抜いたほうがいいのかい？



中央の歯から数えて8番目の歯である親知らず。なぜ親知らずというのでしょうか？

それは、子供が親の手から離れた頃に生えてくることから、その名前がついたとも言われていますが、昔は寿命が短かったので、生えてくる頃には、もう親は亡くなっている事が多く、親を知らずに生えてくるから・・・という説が有力だそうです。

さて、この親知らず、上下左右で計4本、全てが必ず生えてくるとは限りません。

いくつになっても全く生えてこない人もいれば、1本だけ生えたという人もいます。

きちんと生えてくる場合は17~23歳くらいで萌出するのですが、出てくるのが他の歯より遅いので、もともと生える場所が十分ではありません。

その上、現代人の食事はやわらかいものが多く、昔の人に比べると1回の食事でものを噛む回数がかなり減っています。そのため、あごが発達せず、あごのサイズがどんどん小さくなって、それにともない歯の数も減ってきているのです。

例えるなら、7人がけのイスに8人が座っている状態ですね・・・。

親知らずは尾てい骨や虫垂（盲腸）のように現在、退化する傾向にある歯なので、ある人とない人がいるのです。

### 親知らずによって起こるトラブル

- ① 一番奥にあって歯ブラシが届きにくい  
ため、**磨き残しが多い。**  
磨き残しがあると、手前の歯まで  
虫歯にしてしまう。
- ② 正しい位置に生えてくるのが少ない  
ので、**全体の噛み合わせをくるわせたり**  
**隣の歯にぶつかって、その歯の位置まで**  
**動かしてしまうこともある。**
- ③ 一番奥なので治療の器具などが届きに  
く、**虫歯になると治療が難しい。**



## A. 本来は

**抜くべきではありません**  
が、しかし・・・

残念なことに、現在では左記のような問題のないケースの方がまれで、多くの方が親知らずに関して何らかの問題をかかえています。日常生活に支障をきたしたり、歯列を崩す原因となっている場合は抜歯をおすすめすることが多くなります。

あごが十分に発達していて、歯列にそってきれいに生え、上下の噛み合わせもうまくいく・・・と正常に機能していれば抜く必要はないのですが、何か異常を感じたら、早めに受診した方がいいですね。

担当：近藤

### はま歯科医院

〒501-6224 羽島市正木町大浦 79-2

TEL 058-394-4662

E-mail [info@ham-dent.com](mailto:info@ham-dent.com)

ホームページ <http://www.ham-dent.com>

診療時間 平日 9:30~13:00 15:00~18:30

土曜日 9:30~13:00 14:30~17:30

休診日 日曜日・祝祭日・木曜日